

## 投稿論文の書式、注、引用文献について補足(内規) (英米文学論文用)

制定：2015年3月16日

改正：2016年3月14日

『日本英語英文学』の論文書式について、基本的には諸先生方が普段用いられているスタイルが尊重できるような緩やかなものを考えておりますが、全体の統一という観点から、また経費の節減という事情もございまして、以下の諸点を共通の書式として頂ければ幸いに存じます。以下、学会誌、学会ホームページ上で公開されている「投稿規程」、「投稿論文の書式」と重複する部分も少なからずありますが、どうぞご了承下さい。なお、本内規制定後も、従前の「書くための指針として(内規)」は有効であり、英米文学分野で論文を執筆する際に重要な事項が書かれておりますので、そちらも併せてご参照下さい。

### 1. 書式、字体、枚数など

- ・投稿原稿はA4用紙横書き、MS Wordで、天地左右に2.5cm(1インチ)のマージンを取り、1ページ25行の設定として下さい。
- ・字体は、本文・注のいずれにおいても、和文をMS明朝、英文をCenturyとし、ポイントは12ポイントを使用して下さい。
- ・投稿原稿の長さは、上記の設定で、論文、書評論文の場合は32ページ以内、研究ノート、書評の場合は16ページ以内です。なお、図表、注、参考文献もこのページの制限内に収めて下さい。
- ・英数字、マルカッコ、コンマ、コロン、セミコロン、ピリオドは半角文字をお使い下さい。なお、一重カギカッコ(「 」)、二重カギカッコ(『 』)、ヤマカッコ(〈 〉)は全角文字をお使い下さい。
- ・コンマ、コロン、セミコロンの後には半角1文字分のスペースを空けて下さい。また、文末のピリオドの後には半角2文字分のスペースを空けて次の英文を始めて下さい。
- ・カッコの前後には基本的にスペースを入れる必要はありません。また、欧文と和文の境目も同様にスペースを入れる必要はありません。
- ・原稿の1ページ目は中央にタイトルの後、氏名、ご所属などは記さず(それらの情報や謝辞などは表紙に記して下さい)、その後、1行アケで本文を始めて下さい。
- ・日本語論文の場合、外国の人名は、初出の箇所では和名+原形で記して下さい。また論文内でキーとなる人物に言及するとき、初出時に限ってカッコ書きで英語表記と生没年を表記して下さい。(例)ハーマン・メルヴィル(Herman Melville, 1819-1891)
- ・日本語論文の場合、外国の作品名、雑誌名等は、初出の箇所では和名+原形と発表年も付して表記して下さい。(例)『魔法の樽』(*The Magic Barrel*, 1958)
- ・引用原文には和訳(自訳・他訳は問わない)を付して下さい。

#### 【補足】

1. 掲載時に引用原文のみで和訳を付けない場合も、提出時には和訳(自訳・他訳は問わない)を付けて、初出時に「和訳なし(原文のみ)」と明記して下さい。この和訳は規定枚数・字数に含まれません。
2. 掲載時に原文を省略して和訳のみの場合も、提出時には原文を付けて、初出時に「原文なし(和訳のみ)」と明記して下さい。この場合の原文は規定枚数・字数に含まれません。
3. 原文・和訳を併記される場合は、初出時に「併記」と明記して下さい。尚、必要上、一部原文・和訳併記となる箇所については、その旨をお知らせいただく必要はありませんが、掲載時に原文・和訳併記の場合は、いずれも規定枚数・字数に含まれます。

- ・各節、註、引用文献の前後は1行空けて下さい。
- ・注の番号は、日本語論文の場合、句読点の前に、「…だとしばしば主張されるが<sup>1</sup>、実際には…だと考えられる<sup>2</sup>。」のように、注番号の前後にカッコなどを付さず、上付けとして下さい。英語論文の場合、punctuationの後に、*In 1958, encouraged by the success in London of his play Flowering Cherry,<sup>1</sup> Robert Bolt gave up teaching to devote all his time to writing.<sup>2</sup>* のように、注番号の前後にカッコなどを付さず、上付けとして下さい。
- ・「はじめに」あるいは「序論」は(0節からではなく)「1. はじめに」のように、1節から始めて下さい。
- ・小節番号は、「3.1. 代案」のように、数字の後にピリオドを置いて下さい。
- ・セクションタイトルは「1. はじめに」「3.1. 代案」などを左寄せとすることを原則としますが、セクションタイトルを算用数字(1, 2, 3, 4, …)あるいはローマ数字(I, II, III, IV, …)のみで記す場合は中央配置としても構いません。

## 2. 注、参照文献など

- ・原則として、*MLA Handbook for Writers of Research Papers*(最新版)に従って下さい。
- ・「Notes」は、「注」として下さい。出版年等の情報は「引用文献」で明記し、必要最小限度の情報にとどめて下さい。

### 〈日本語論文における注の例〉

#### 注

##### 1. Christopher Ondaatje は、…と述べている(185)。

- ・英語の文献、日本語の文献を混在させてアルファベット順に並べて下さい(別々に分けしないで下さい。また、冠詞を除いた後の単語によるものとします)。
- ・以下、及び、その他、文献リストのスタイルは、英文、和文関係なく、*MLA style* に準ずるものです。日本語文献の表記については、下記の例に従って下さい。なお、出版社の地名は省略するものとします。

#### (1)学会誌掲載論文

著者名「論文名」『雑誌名』巻数(半角文字)(出版年月は半角文字)掲載ページ番号(最後にピリオド)

(例)本荘忠大「アフリカ先住民表象に見るヘミングウェイのアフリカ」『ヘミングウェイ研究』第9号(2008年8月)29-38.

#### (2)単行本中の掲載論文

著者名「論文名」『書名』編者がある場合は編者を明記(出版社, 発行年)掲載ページ番号(最後にピリオド)

(例)本荘忠大「ヘミングウェイと禁酒法」『アーネスト・ヘミングウェイ—21世紀から読む作家の地平』日本ヘミングウェイ協会編(臨川書店, 2011年)160-173.

#### (3)単行本、著書

著者名『書名』(出版社, 発行年)

(例)植村洋『ロックを「読む」』(弦書房, 2005年)

#### (4)単行本、訳書

著者名『邦訳名』訳者名(複数の場合は1名のみを表記し、残りは「ほか」とする)(出版社, 発行年)

(例)レスリー・A・フィードラー『アメリカ小説における愛と死』佐伯彰一ほか 訳(新

潮社, 1989 年)

・ 2 行にわたる場合、次の行は、**indentation**

本荘忠大「ヘミングウェイと禁酒法」『アーネスト・ヘミングウェイ—21 世紀から読む作家の地平』日本ヘミングウェイ協会編(臨川書店, 2011 年)160-173.

・ 同一著者による複数文献

本荘忠大「ヘミングウェイと禁酒法」『アーネスト・ヘミングウェイ—21 世紀から読む作家の地平』日本ヘミングウェイ協会編(臨川書店, 2011 年)160-173.

---. 「アフリカ先住民表象に見るヘミングウェイのアフリカ」『ヘミングウェイ研究』第 9 号 (2008 年 8 月)29-38.

### 3. 附則

この内規は 2015 年 4 月 1 日から運用し、『日本英語英文学』第 25 号に代えて発行される 25 周年記念刊行物より適用する。

改正後の内規は 2016 年 4 月 1 日から運用し、『日本英語英文学』第 26 号より適用する。